



2019年3月18日

報道関係者各位

慶應義塾大学薬学部

分子診断システム構築による  
創薬イノベーション研究プロジェクトを開始  
ー プレシジョン・メディシン分子診断プロジェクト (PreMo) ー

慶應義塾大学薬学部創薬研究センターは、プレシジョン・メディシン分子診断プロジェクト (Project of Precision Medicine and Molecular Diagnostics (PreMo) : プロジェクトリーダー 金澤秀子教授) に関して、株式会社日立ハイテクノロジーズと共同研究契約を締結し、共同研究を開始しました。

プレシジョン・メディシン分子診断プロジェクト (PreMo) は、次世代シーケンサーをはじめとする分子診断システムの性能評価について、薬学部の持つ分析化学的技術や経験に基づき遂行します。分子診断の検査結果から薬物治療に関する方針決定を行うプロセスについて検討し、臨床実装のための課題の抽出や支援方法の開発を目指します。今回契約を締結した企業並びに医学部との共同研究を軸に、プレシジョン・メディシン (精密医療) の実現のため、ゲノム医療をはじめとする分子診断の臨床実装により、我が国の創薬基盤研究の推進に貢献していきます。

精密医療が進む中で、分子診断には今後ますます包括的な分析手法が求められています。本プロジェクトでは、分子診断により得られた結果から、臨床での個別化医療を目指した最適な薬物治療につなげるために薬学部の持つ分析化学的技術や経験を活かして多面的なアプローチを行うとともに、医学部と連携し、分子診断システムの臨床実装を進めていきます。ゲノム医療に従事する人材育成は喫緊の課題であり、臨床につながる本プロジェクトを通して、将来的には、ゲノム医療専門薬剤師等の育成にもつながると考えています。

※ ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※ 本リリースは文部科学記者会、科学記者会、各社科学部等に送信させていただいております。

・研究内容についてのお問い合わせ先

慶應義塾大学薬学部 創薬物理化学講座 教授

金澤 秀子 (かなざわ ひでこ)

TEL/FAX : 03-5400-2684

E-mail : [kanazawa-hd@pha.keio.ac.jp](mailto:kanazawa-hd@pha.keio.ac.jp) 研究室 HP : <http://keio-physchem.jp/>

・本リリースの配信元

慶應義塾広報室 (豊田)

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

E-mail : [m-pr@adst.keio.ac.jp](mailto:m-pr@adst.keio.ac.jp) <https://www.keio.ac.jp/>

## 参考資料

### 1. 慶應義塾大学薬学部創薬研究センター（センター長 三澤日出巳教授）

慶應義塾大学薬学部（東京都港区）では、2014年に創薬研究センターを設立し産学官の連携拠点として創薬研究の高度化と人材育成に取り組んできました。その活動拠点として「創薬研究センター・ラボラトリー」を整備し、薬学部をはじめ慶應義塾大学内の幅広いエキスパートの参画のもと、先端研究の実施と研究戦略の科学的立案に取り組むネットワーク・ハブを形成しました。これらの取り組みは、現在までに、特許出願や企業との共同研究に結びつくなどの成果を挙げています。このたび、特定の先端創薬研究や先端技術開発に向けたコンソーシアム構築と高度化のための、プロジェクト制を導入し、研究スペースの拡張や主幹教員の配置など、さらなる運営体制の強化に努めています。

<http://www.pha.keio.ac.jp/research/rcdd/index.html>

### 2. 株式会社日立ハイテクノロジーズ（代表執行役 執行役社長 宮崎正啓）

日立ハイテクノロジーズ（東京都港区）は、2001年、先端産業分野における専門商社である日製産業と日立製作所計測器グループ、同半導体製造装置グループが統合し誕生しました。現在、「科学・医用システム」「電子デバイスシステム」「産業システム」「先端産業部材」の4つのセグメントで、グローバルな事業展開を行っております。

<https://www.hitachi-hightech.com/jp/>